ボーリング柱状図

調　査　名　平成30年度 甲山甲奴上市線 道路災害防除事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BP．2	調査位置	世羅郡世羅町西上原			北緯	34° 35’ 38.0″
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所			調査期間	平成 31年 4月 23日 ～ 31年 4月 25日	東経	133° 4’ 41.5″
調査業者名		管理技術者		照査技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	351.65m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 10°
総掘進長	13.00m	使用機種		試錐機	東邦DO－C	ハンマー落下用具	半自動落下
				エンジン	ヤンマーNFAD7	ポンプ	ヤンマーCP－55

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	351.15	0.50	0.50		砂質粘性土	暗褐	非常に緩い		植根多い表土。 含水少。
1									
2									
3					礫混りシルト質砂	黄褐	緩い		崖錐堆積物。 φ2～30mmの角礫・風化礫が少量散在する。 基質は細砂～細中砂からなる。 所々粘性土分多い。 含水少。
4									
5	346.15	5.00	5.50						
6									
7					強風化混在岩	黒褐灰～帯青灰			土質区分での砂礫質土の強度しかなく、破砕を受けた強風化混在岩。 岩種は下位の基盤岩と同様、輝緑凝灰岩と粘板岩の混在岩様を呈する。 軽い拳圧で角礫状～砂礫状に砕ける。 N値は7～25で岩盤としては脆弱層である。 太古の規模の大きい地すべり岩塊や破砕帯の可能性も否定できない。
8									
9									
10	340.80	5.35	10.85						
11					風化混在岩	黄褐灰～暗褐灰			輝緑凝灰岩と粘板岩からなる混在岩様を呈する風化変質した基盤岩。 短柱状コアと角礫状コアからなり、破砕帯様を呈するが、岩片は比較的硬質。 N値は50以上となる。
12									
13	338.65	2.15	13.00						
14									
15									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
	1.15	2/9	3/11	3	8/30	8							
	1.45												
	2.15	2/12	2	2/8	6/30	6							
	2.45												
	3.15	2	2	3	7/30	7							
	3.45												
	4.15	3	2	4	9/30	9							
	4.45												
	5.15	2	3	4	9/30	9							
	5.45												
	6.15	2	2	3	7/30	7							
	6.45												
	7.15	3	4	4	11/30	11							
	7.45												
	8.15	6	7	9	22/30	22							
	8.45												
	9.15	4/13	3/7	3	10/30	10							4/23
	9.45												
	10.15	8	8	9	25/30	25							
	10.45												
	11.15	17	14	23	54/30	54							
	11.45												
	12.15	60/8			60/8	225							
	12.23												
	13.15	20	25	15/4	60/24	75							4/24
	13.39												